

夫婦善哉 (1955)

メディア 映画

ジャンル ロマン ス ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 121分

初公開日 1955/09/13

【解説】

織田作之助の同名小説を八住利雄が脚色、豊田四郎が監督、森繁久彌と淡島千景が主演し映画化。1963年には本作と同じ豊田監督、森繁・淡島主演で「新・夫婦善哉」が製作された。曾根崎新地で売れっ子芸者の蝶子は、大阪の化粧問屋の道楽息子である柳吉と駆け落ちする。柳吉は親から勘当されてしまったため、生活が苦しくなってしまった。蝶子はヤトナ（臨時雇い）芸者として働き始めるが、柳吉は蝶子の稼いだ金を道楽に使ってしまうのだった。

【クレジット】

監督	豊田四郎	
製作	佐藤一郎	
原作	織田作之助	「夫婦善哉」
脚本	八住利雄	
撮影	三浦光雄	
美術	伊藤憲朔	
編集	岩下広一	
音楽	團伊玖磨	
特殊技術	東宝技術部	
出演	森繁久彌	維康柳吉
	淡島千景	蝶子
	司葉子	柳吉の妹・筆子
	浪花千栄子	おきん
	小堀誠	柳吉の父・伊兵衛
	田村楽太	蝶子の父・種吉
	三好栄子	蝶子の母・お辰
	森川佳子	柳吉の娘・みつ子
	万代峰子	金八
	上田吉二郎	客一
	澤村宗之助	柳吉の叔父・儀平
	谷晃	巳之吉
	若宮忠三郎	おきんの亭主
	三條利喜江	薬屋のお内儀さん
	本間文子	おふさ
	沢村いき雄	八卦見
	春江ふかみ	女給・鳩子

梶川武利	新聞記者・新見
大村千吉	客A
河崎堅男	通いのコック
如月武子	有馬温泉の宿の女中
丘寵児	新聞記者・山谷
出雲八重子	ヤトナA
江端秀子	ヤトナB
二條雅子	女給・里子
豊ひさ子	おきんの家の小婢
宮田芳子	熱海の宿の女中
登山晴子	料亭の女中
広瀬正一	客B
吉田新	客二
土屋博敏	関東煮の客